

1 おしゃれなだけじゃない！ 昔の人が大切に したもの

宮古上布の模様には、おしゃれだけでなく意味を持つ模様があります。模様のモチーフとなっているものを大きく分けると、A鳥や動物、B自然植物、C生活用具、D幾何学模様の4つに分類できます（※論文より）。これらは縁起物であったり、生活にかかせないものなどであり、これらを模様にして身にまとうことで、おしゃれ以外にも、良いことを引き寄せる、悪いものから身を守るなどの思いがあったことがわかります。このような模様は、ハジチ（宮古方言でパージチ）にも使われています。

ハッケンいっぱい♪
ここがおもしろい！

宮古上布 の模様

宮 古の伝統である宮古上布。その模様に注目すると、おもしろい発見があります。今月号では、模様をみるときのポイントを特集します。身近な人のかりゆしウェアにはどんな模様がありますか？

宮古上布とは

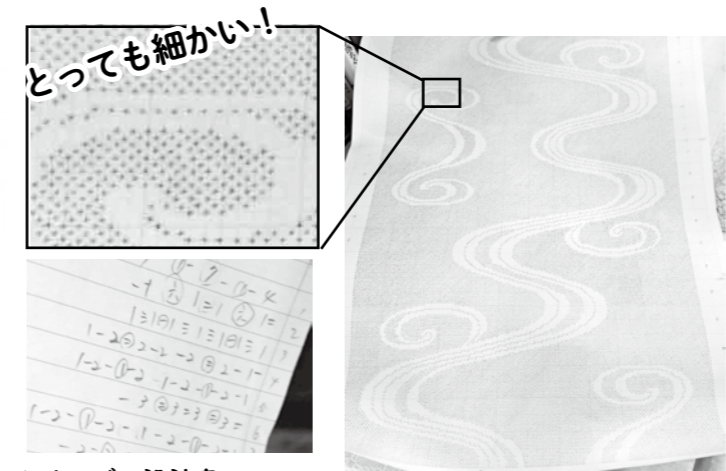
●**日本三大上布の一つ「宮古上布」**
宮古上布は、越後上布、近江上布に並び日本三大上布の一つで麻織物の最高級品です。生地には光沢・透け感があり、通気性の良い苧麻繊維で織られていて、夏の暑い時期を快適に過ごせます。

●**国の重要無形文化財**
1978年には国の「重要無形文化財」に指定され、2003年には苧麻の糸を積む技術が「国選定保存技術」に指定されました。宮古上布の中でも、その行程により「重要無形文化財」と「伝統的工芸品」に分かれます。

●**宮古上布の「模様」作り**
宮古上布は分業制で作られており、そのうち模様の図案を作る工程を「意匠」というデザイナーさんが担当しています。現在、宮古では唯一、下地達雄さんが意匠として活躍しています。

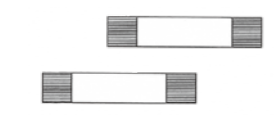
意匠のお仕事には、模様の図案作りとその設計書作りがあります。頭で思い描いた模様を、細かい沢山の十字で表すその作業は、集中力がいるとても繊細な作業です。

イーズ（絵図）…宮古上布の模様の図案。
宮古上布の模様は、細かい十字の集合でできています。大きな方眼紙のマスの交差するところに十字を細かく配置することで点描のように模様を作り出します。



▲イーズの設計書
数字が並んでいて素人にはわかりません…！

▲流水のイーズ

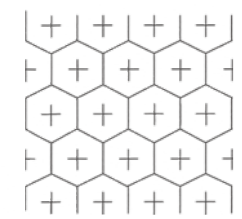


トーニ（豚の餌箱）

大事なタンパク質源にもなりお金にもなる豚を育てるうえで大切な餌箱。

ジンダマ（錢玉）

お金の模様。お金に困らないようにという願いが込められていると考えられます。¥マークを身にまどっていると思うとシュールな気もしますが、水玉模様のようにかわいらしいです。



カミノクロー（亀の甲）

めでたい象徴とされている亀。健康で長生きしますようにという願いがこめられています。



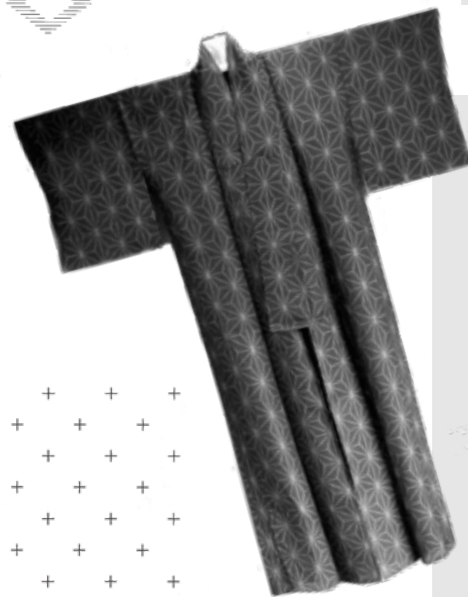
パサン（はさみ）

わるいものを断ち切るという意味があります。

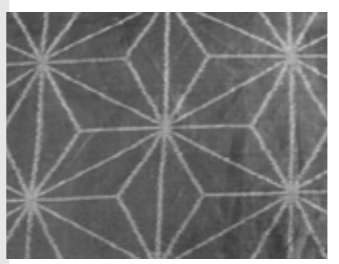
麻の葉

魔除け。悪いものから身を守る。

この模様には、魔除けの意味があります。日本では、昔から悪いものが来ないように赤ちゃんの産着などの模様として使われていました。宮古上布だけでなく江戸時代の着物にもあしらわれ、最近では人気マンガ「鬼滅の刃」の主人公の妹 禰豆子の着物の柄にも使用されています。



あれ！？
「鬼滅の刃」の
ねずこ
禰豆子の模様だ！



「**模**」様は広く人に愛されるものを意識して書いています。プリントで模様を付ける服とは違い、宮古上布の着物は立体的な動物等を表現できない難しさがあります。だからこそ、デザインの幅を広げるため、昔からよく使われている模様だけでなく、雑誌を参考に、良いものを取り入れています。」



宮古上布のデザイナー！

たつお
下地達雄さん 宮古上布伝統工芸士（意匠）

下地さんは、14歳から現在までの63年間、宮古上布の図案作成に携わっています。これまでに作成した図案は数百種類あり、手括りの指導など、宮古上布の発展・継承にも尽力しています。

